

## 2 目標達成計画

作成日：平成 25年 2月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の人たちが(子供を含む)気楽に訪れてもらえるような取り組みに期待したい。さらに、高齢者を地域で支え合う関係づくりにも期待したい。	地域資源の情報を積極的に取り入れ、活用していく中で、地域の中で馴染みの関係づくりを構築していく。	①近くの公民館に出向き、利用者様と共に催し物などに参加して、地域交流を図っていく。 ②周辺施設と協力し、地域の高齢者が集まる支援センターと、無理のない(地域高齢者を支える)協働作業ができないか模索していきたい	3～6 か月
2	33	重度化や終末期のあり方について、家族や関係者との段階的な話し合い、目的・判断基準基本姿勢などの明記、職員教育などの取り組みに期待したい。	重度化した場合や、終末期のあり方について、職員は利用者・家族の思いを把握し、支援できる体制について方針を理解し、取り組んでいく。	①看取りの指針に対する説明を家族会や、ホーム内研修で行う。②利用者・家族には、随時、看取りに対する思いのアンケートを実施する。	3～6 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。